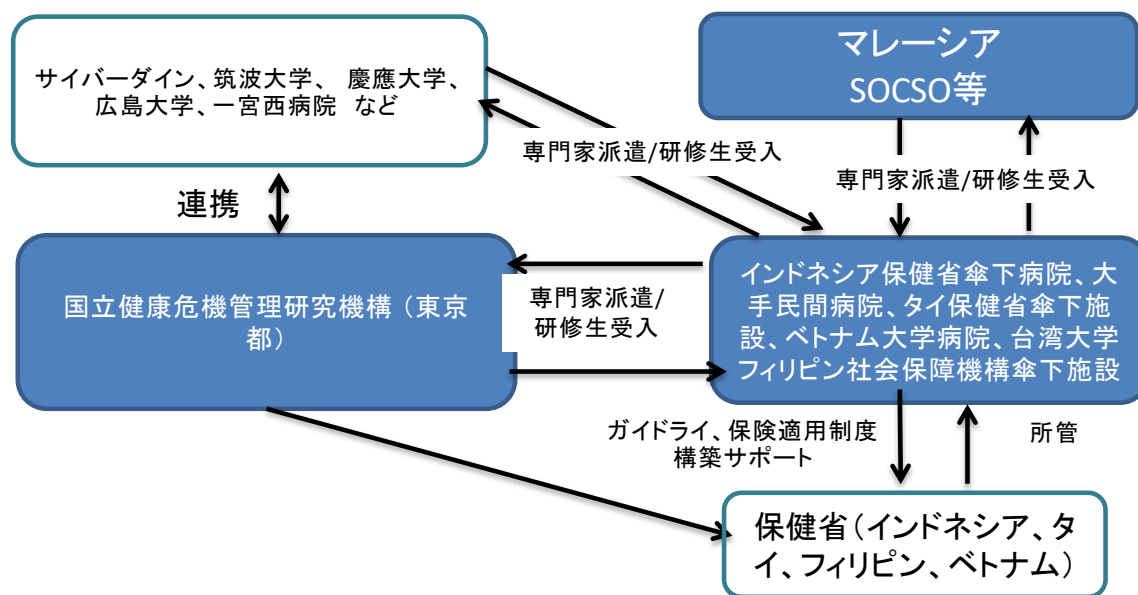


日本とマレーシアをマスタートレーナー国とした東南アジア各国の障害者のリハビリテーションや高齢者の健康維持に対するサイバニクス治療に関する臨床技術の強化及び資格者育成事業 3年計画の2年目

- 対象国での障害者のリハビリテーション治療や高齢者の健康維持の取り組みに対して弊社のHALを導入し効率的かつ効果的な治療の普及を行う。対象国の医療従事者へのHALのトレーニングを行い持続的にHALの展開と普及が進むような仕組みを作る。
- HALの治療に関してインドネシア、タイの保健省直轄の医療機関、国立大学病院、大手民間病院グループ病院、またインド大手病院、フィリピンの労働者社会保障機構施設、ベトナム大学病院、台湾大学など30施設程度を対象としHALのトレーニングを日本でHALのエキスパートである医療機関とマレーシアの社会保障機構と協力してHALのトレーニングを行う。
- 計画の完了時点ではインドネシアとタイで保健省による医療保険適用が完了し保健省直轄病院においてHALの導入が進んでいることを目的とする。また持続的にHALの治療が普及するために本プロジェクトで育成したマスタートレーナーが定期的に現地でベーシックトレーニングを実施する体制が構築できていることと目的とする



＜研修スケジュール予定＞

- 6月（以降2回計画）。インドネシア保健省リハビリプロトコル策定担当者へのトレーニング
- 7月、9月 ベトナム、フィリピン、インド、台湾からHALの基本トレーニング目的で日本に研修生の受入（12名）
- 日本のエキスパート施設での見学とトレーニング
- 10月、12月 ベトナム、フィリピン、インド、台湾からHALのマスタートレーニングコース目的で日本に研修生の受入（12名）
- 6月よりR7-JIHS事業で育成したマスタートレーナーによる現地で基本トレーニングの実施（合計9回、インドネシア、タイ、マレーシア）。各国の主要医療機関で実施（合計130名対象）
- 9月、11月にインドネシア、タイの保健省直轄医療機関においてサイバニクスセミナーを開催、政府関係者を招待